

知床の窓から見えるもの

2024年2月14日（水曜日）

はじめまして！今回ブログを担当させて頂くのは去年10月に知床らうす通所リハビリセンターに異動してきた理学療法士です。私は介護事業部での勤務が未経験だったため、異動してきた当初は慣れないことも多かったのですが、リハビリの利用者さんの優しい人柄にいつも助けて貰いながら楽しく学ばせて頂いております。1年間という期限付きではありますが、これからもよろしくお願い致します。



2月に入り、羅臼にも流水が漂着しました。

私の出身地は清里町というところで、高校時代は網走まで釧網本線で通学していました。汽車の窓から網走の流水を毎年見ていて、いつもの見慣れた光景だと思っていたのですが、羅臼の流水は国後島まで埋め尽くされていてとても壮観でした。利用者さんの送迎で海岸沿いを運転する際に、あまりの綺麗さに車を駐車して撮影してしまいました…。流水の景色に毎回見入ってしまいます。今は地球温暖化の影響で流水がかなり小さくなっていると耳にしますが、今年の流水にこれだけ感動しているのに、私が生まれる前の流水はどれだけ凄かったのかとても気になります。

余談ではございますが、羅臼に住みはじめて約4ヶ月が経過し、魚を捌くことに初挑戦してみました！羅臼出身の友人から聞いたのですが、羅臼町民は大体の人が魚を捌けるとのことです…本当でしょうか？リハビリの利用者さんからお魚を頂くことがあり、一人暮らしにとってはとてもありがたいことです。先日ホッケを頂き、自身で捌いてみました！魚の身が皮の方に残ってしまい、魚捌きの難しさを痛感しました。出刃包丁は持っておらず、魚捌きも初心者なので温かい目で見て下さい(笑)。



羅臼の魅力である食や自然の景色を堪能しながら毎日充実した生活を送ることができております。残り約半年間ほどですが、職員、利用者さん、羅臼町民の方々これからもよろしくお願い致します！